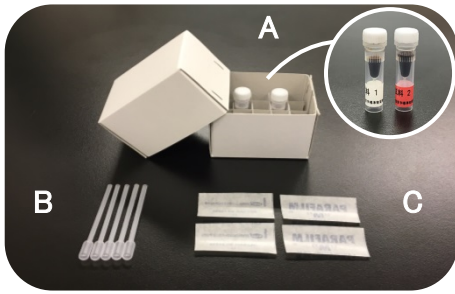


検体測定室外部精度管理調査 試験用試料採取手順(冷蔵試料)

パラフィルムの上に試験用試料を採取し、指頭血に見立てて測定していただきます。

■届くもの

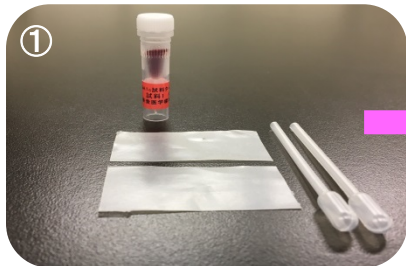


- 1装置につき、
 A 測定試料 2 レベル、各 1 本
 容量 0.3mL、
 計 2 本小箱入り
 B ピпет 5 本(1 本予備)
 C パラフィルム 4 枚

■薬局様にて準備するもの

- ・測定試薬カートリッジ(ディスク)
 ※少なくとも 4 回分
- ・専用の廃棄箱
- ・ゴム手袋(パウダーフリー)

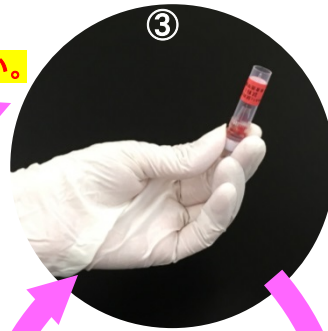
■使用手順 **【注意】すべての測定(2回)は1時間以内に終了させてください。**



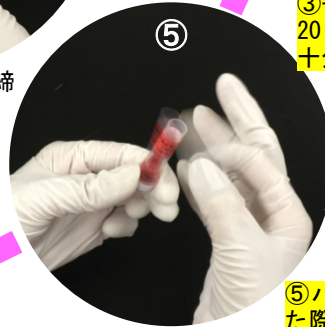
① 試料を室温に取り出し、静置する(約 25°C、20 分)。パラフィルムやピペットの準備を行う。(PARAFILM と印字された紙をはがし、内面を使用する。)



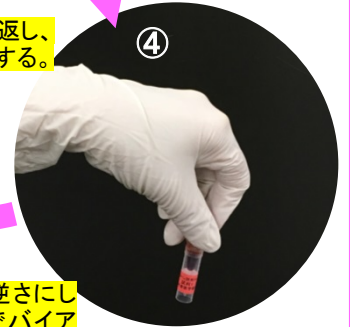
② キャップを増し締めする。



③~④ バイアルの端を指でつまみ、転倒混和する。



③→④→⑤を 20 回以上繰り返し、十分に均質にする。



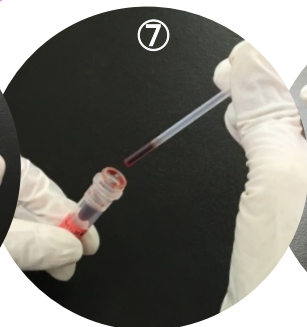
⑤ バイアルを逆さにした際に、指先でバイアルをはじき、上部に残っている液を落とす。

【キャップを開けるときの注意点】

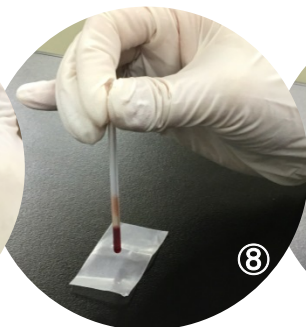
※キャップを開ける前にバイアル上部をはじいて、キャップ内に付着している液を落としてください。



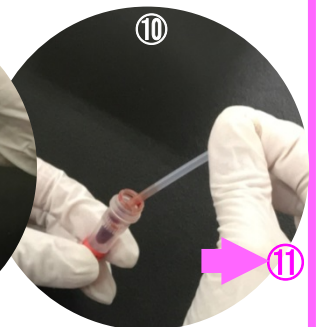
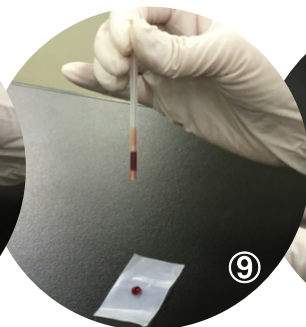
⑥ ピペットを液の内部に差し込み、ゆっくりと液を吸う。



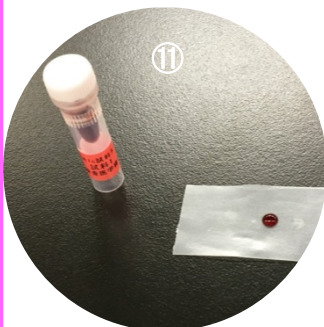
⑦ ピペットの 1.0~1.5cm まで吸い上げる。



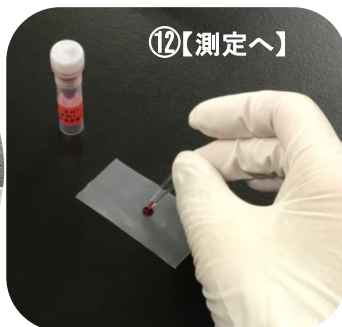
⑧~⑨ ピペットを立ててパラフィルムに液を滴下する。



⑩ ピペット内の残液はバイアルに戻す。



⑪ 試料量の目安は米粒程度(約 10 μL)。



⑫ 各装置のキャピラリーに吸引させ、測定操作を行う。

【注意】

- 測定は計 4 回(試料 2 種類を 2 回ずつ測定)のため、少なくとも 4 回分の試薬カートリッジ(ディスク)が必要です。
- 測定日が試薬カートリッジ(ディスク)の有効期限内であることをご確認ください。
- 測定ごとに、必ず③~⑩の転倒混和及び試料採取の作業を行ってください。
- パラフィルムに試料を滴下後、すみやかに測定操作を行ってください。
- 試料採取に使用したピペットや脱脂綿は、専用の廃棄箱に入れ、測定に使用した廃棄物と同様に適切に処理して下さい。